

支部のトピックス(東北支部)

支部「講演会」を開催しました（令和3年11月19日）

東北支部では平成14年度（2002年度）から、社会資本整備の重要性とその担い手でもある建設コンサルタントの必要性を広く一般の方に知っていただくことを目的に、広報活動の一環として「講演会」を実施しています。

令和3年度（2021年度）は、東日本大震災から10年という節目の年であることを踏まえ、「東日本大震災から10年 ～これからの東北・これからの災害に備えて～」をテーマに、復興・創生が進む中、これからの東北の在り方を考え、また、今後高い確率で発生すると考えられている地震災害への対応を認識する機会とし、地域社会に望まれる社会資本整備の在り方について改めて考えてもらうことを目的として開催しました。

講師には、東日本大震災をきっかけに石巻市に移住し空き家住宅のリユース業などを営む（株）巻組渡邊享子代表取締役社長（テーマ：リユースとシェアによる持続可能な住宅づくり）、高知県黒潮町職員で日本一の津波想定を逆手に取った防災対策と産業振興策に注力している友永公生産業推進室長補佐（テーマ：逆境と向き合う黒潮町の取り組みについて）、防災・減災の啓発に関する活動やツール開発などに取り組んでいる東北大学の佐藤翔輔准教授（テーマ：東北の災害伝承～あの日までとあの日から～）のお三方による講演をいただきました。

なお、講演会への参加者については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会場への入場者数を50名程度に制限するとともに、当協会会員には後日支部ホームページから視聴することができる仕組みを構築し、集合方式とWeb方式の併用により実施しました。

【会場風景】



支部長挨拶



渡邊享子氏講演



友永公生氏講演



佐藤翔輔氏講演